

市民部

担当部署	事務事業名	事業概要	上半期進捗状況
環境生活課	ごみ減量化対策事業(リサイクル推進補助金)	ごみの減量化に向け、地域や各種団体による集団回収・リサイクルの取り組みを推進します。ごみ減量化対策助成金制度・生ごみ減量化対策助成金制度を継続し、効果的な集団回収・リサイクル活動の定着に向けた支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページへ資源回収参加団体募集記事を追加しました。 生ごみ処理機 18 台、コンポスト 15 基の普及を行いました。また、生ごみの減量化のための「エコクッキング教室」を開催しました。
	結婚サポート事業	未婚の男女の増加に歯止めをかけ、人口増や若者定住を促進するため、未婚の男女に交流、出会いの機会を提供します。結婚希望者魅力アップ研修、工業会・事業所と連携を取りイベント等を行い、新規会員募集、成婚を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 男女交流の場として、カップリング交流イベント「あなたのハートにストライク」を実施し、参加者は男性 19 名、女性 20 名、カップル成立 3 組でした。 9 月末現在、成婚カップル 6 組、結婚コーディネーター数 17 名です。
人権多文化共生推進課	男女共同参画事業	男女共同参画社会の実現に向け、各場において活躍する方(特に女性)を紹介し、家庭・職場・地域の意識高揚を図るため、男女共同参画だよりを発行します。	<ul style="list-style-type: none"> 名称「あきたかた男女共同参画だより」No.1 の作成を 9 月末に完了しました。 ※10 月発行

福祉保健部

担当部署	事務事業名	事業概要	上半期進捗状況
子育て支援課	24 時間保育の充実・子育て支援員養成事業・ファミリーサポートセンター事業・保育料軽減事業	誰もが安心して子育てをするため、地域社会全体で子育て世帯を支える「24 時間保育体制」の充実喫緊の課題であると言えます。	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て支援員養成研修」は、県の研修日程との調整の結果、平成 30 年 1 月～2 月の開催予定となりました。 ファミリーサポート提供会員は、年度当初から 2 人増員し、9 月末現在で 59 人となりました。
健康長寿課	生活支援員制度構築事業	もやいの精神による「地域全体で高齢者等を見守る体制」を市内全域に構築し、住み慣れた地域で安心して生活できる安芸高田市を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> 6 月に民生委員・児童委員協議会に説明し、7 月からまちづくり委員会、地域振興会への説明会を開催し、9 月末現在の説明会実施率は 58%となっています。 10 月 1 日から 4 地域振興会が生活支援員制度に取り組むこととなりました。

産業振興部

担当部署	事務事業名	事業概要	上半期進捗状況
農林水産課	木の駅プロジェクト(里山林整備活動のための啓発活動)	市民自らが山に入り、地域の里山林を整備していく仕組みを構築します。里山林整備活動の担い手を増やし、有害鳥獣対策、災害防止、地域活性化につなげていきます。	<ul style="list-style-type: none"> 木の駅に取り組むリーダー発掘を図るため、人工林整備の機運を高める森の健康診断、木の駅の勉強会、山での伐採、木の搬出講習会等の計画を策定しました。 里山林材の取引条件等を整理したガイドラインに係るチップ材の買取価格や、受け入れ条件について調査しました。
地域営農課	道の駅整備事業	道の駅整備事業のうち、産直市・レストラン等の農業振興部門の充実による農家所得の向上のため、JA 広島北部や関係団体と連携し、農産物等の生産・販売拡大に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> JA 広島北部と連携し、産直市振興プロジェクト会議を開催。出荷量及び販売額増のための方策や、産直市店舗の機能・規模等について協議しました。 農産物の 6 次産業化と、生産拡大を通して産直市への出荷増を目指した就農塾を定期開催しました。(8 回受講者 22 名)
商工観光課	企業立地推進事業	市内において新たにサテライトオフィス等を開設、起業を行う等の事業者等に対し補助金を交付します。企業誘致を促進するため、市内に立地した企業に対し奨励金を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> 市の産業の活性化及び雇用機会の拡大を目的に企業誘致等に取り組みました。(企業誘致(新規・規模拡大)2 事業者、起業支援事業 2 事業者)

平成 29 年度 安芸高田市 仕事目標 上半期進捗状況

本年 7 月号に掲載しました安芸高田市の「仕事目標」に対する上半期の進捗状況を次のとおり公表します。

総務部

担当部署	事務事業名	事業概要	上半期進捗状況
総務課 情報管理室	社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)利用促進事業	マイナンバーカードによる住民票・各種証明書の自動交付機を導入し、市民サービスの向上・業務の効率化に取り組むほか、マイナンバーカードの普及に向け独自利用を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト会議を開催し、マイナンバーカードの独自利用について検討を進めています。 部内でマイナンバーカードによるコンビニ交付及び自動交付機の導入について検討中。コンビニ交付については、平成 30 年度からの本格運用を目指します。 他の機関との情報連携について、試行運用開始に伴い関係部署に説明を行いました。
危機管理課	防災啓発普及促進事業	江の川及び三篠川の想定最大規模降雨(概ね千年に 1 度の大雨)による浸水想定が発表されたことにより、大規模な河川の氾濫に備えた減災対策に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 6 月に浸水想定区域内及び土砂災害危険箇所内の要配慮者利用施設を抽出し、地域防災計画に記載しました。 9 月に想定最大規模降雨による浸水想定区域及び土砂災害危険箇所を示す検討図面を作成、市長とともに机上検討を行いました。

企画振興部

担当部署	事務事業名	事業概要	上半期進捗状況
財政課	公共施設の使用料等の適正化	施設にかかるコストの一部分を利用者に負担してもらう、受益者負担の考え方に基づいた利用料体系にするため、コストと利用率を基にした利用料基準単価を設定し、平成 30 年度から新しい料金体系に移行できるよう取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の受益者負担の適正化について、担当部署と新料金体系及び減免基準について協議を進めました。 施設ごとの受益者負担割合や減免基準、また急激かつ大幅な引き上げにならないよう激変緩和措置や消費税の取り扱いなど引き続き検討中です。
政策企画課	JR 三江線代替交通確保事業	平成 30 年 4 月 1 日に三江線が廃止となるため、三江線に代わる代替交通を確保する必要があります。また、代替交通機関をはじめ、沿線住民の安全・安心な運行を確保するため、廃止までに緊急措置としての対策を県に働きかけを行い、工事等の着手に繋がります。	<ul style="list-style-type: none"> 9 月 1 日、地元協議会において沿線住民のニーズを反映した運行形態、便数等の運行計画が承認されました。 9 月 7 日、法定協議会において三江線廃止に伴う代替交通の運行指針となる公共交通網形成計画を策定しました。 安全安心な道路環境の確保に向け、県道管理者である広島県に対し、緊急的な工事を行うために必要な財源を要望し、確保しました。
	道の駅整備事業	広島県域の国道 54 号のほぼ中間に位置する吉田町可愛地区に整備することにより、地域の活性化や観光振興の拠点を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 3 月に策定した基本計画を具体化するため、最も適した「設計者(人)を選ぶ」公募型プロポーザルを実施し、道の駅の基本設計等を策定する設計業者を選定しました。また、設計業者の技術提案書を道の駅基本設計検討委員会及び市議会道の駅整備調査特別委員会に報告するとともに、技術提案書に対する意見聴取を行いました。
政策企画課 (特命担当)	テレワーク実証実験事業	テレワーク(情報通信機器により柔軟に働くことができる勤務形態)の実証実験を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 5 月 22 日に共同作業所をオープンし、7 月 14 日から、参加モニター 4 名(公募により選考)による実証実験を開始しました。
地方創生推進課	移住・定住推進事業	市が行う移住・定住を推進する施策を、ターゲットとする層に確実に伝え、地域も移住・定住を促進するという機運を高め、地域総ぐるみの地方創生を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 7 月に市ホームページ内、定住・移住促進ホームページをリニューアルしました。 8 月に安芸高田市無料職業紹介所「しごと応援窓口」を設置し、ホームページにも掲載しました。